



神奈川県宮陵会会報

発行
神奈川県宮陵会

Vol. 4

2024年(令和6年)
8月号
会員数 555名

発行：編集：広報委員会
秋田市中通四丁目1番52号406号 TEL：018-837-7768

会報発行は年1回となります。原稿や写真、トピックスなど随時募集しております。



新会長就任の挨拶

会長 佐々木 義廣(昭和47年法律学科卒)

県宮陵会の皆さま、日々ご健勝にお過ごしのことと思います。

この度、会長の任に就くことになりました。力量不足であり運営等にはなほだ心もとなさがありますが、会員各位のご支援、ご協力をもとに県宮陵会発展のため努めてまいります。

大学はコロナ禍を経て、「みんなとみらいキャンパス」(MMC)の開設、2028年の創立百周年に向け、着実に進展を見せている。翻って、同窓会組織である各地方宮陵会は、会員の固定化、高齢化が共通の課題。秋田県宮陵会も同様で、若年世代の減少が切実な悩みである。

過日、横浜再開発の「みなとみらい21」地区に開設された神大MMCを訪れた。21階建て。明るくモダンなビル。一階にはレストランがあり、部外者でも出入り可能。学生に交じって高齢者らがランチを食べていた。キャンパスから徒歩数分で桜木町駅。ベイエリアを散策すると帆船「日本丸」

が浮かび、頭上にはロープウェイ、大観覧車も回っている。イベント広場や飲食店、赤レンガ倉庫など歴史的建造物も並ぶ。多数の若いカップルや観光客で賑わっている。

一帯はMMCの一角と言っているほど身近。キャンパスライフに多彩な刺激を与え、新たな文化が育まれると感じた。これまでの宮陵会員の多くの思いは、横浜キャンパスが立地する六角橋商店街を中心とした下町雰囲気漂う学生生活にある。将来のMMC卒業生にはそうしたノスタルジアは薄く、地元宮陵会に親しみを抱くより、足が遠のく懸念さえある。

いずれにしろ地方宮陵会の会員加入は年々右肩下がりであり、一朝一夕の克服は難しい。そんな中で期待されるのは宮陵会本部による、地方ブロック総会への在学生派遣事業。在学生にとつて帰省できる機会になるし、宮陵会は、会への理解を深めてもらうきっかけになる。

事業は始まったばかりだが今後、ブロック総会だけでなく、各県宮陵会の総会、懇親会にまで派遣拡大を要望したい。秋田県宮陵会にとつて若手加入の端緒にもなる。宮陵会の原点は、会員同士の交流、親睦にある。世代を超え、「学生時代」や「今」を語り合い、明日への英気を養いたい。皆さまのご健康、ご多幸を祈念するとともに、ご指導宜しくお願ひいたします。

令和六年度総会を開催

令和六年度の神奈川県宮陵会総会が、七月二十日(土)秋田市のアキタパークホテルにおいて開催されました。



総会には、神奈川県から古川

昌博(学生支援部事務部部长)、宮陵会本部から三宮政俊(副会長)が来賓として出席され、大学の現状などを報告していただきました。

総会では、佐々木義廣会長の挨拶の後、令和五年度の収支決算および活動報告並びに令和六年度収支予算および事業計画が齋藤繁樹幹事長から説明され、慎重審査の結果、満場一致で決議されました。審議の中では、予算の執行についての活発な意見が出されたほか、参加者の固定化および高齢化、若い世代の参加者の低迷など、会の継続についての課題も出され、有意義な議論が交わされました。

また、ドラゴン女王の神奈川大四年生の長谷川円香さんを講師に招き講話を開催し、懇親会も華やかなうちに進められ、最後は恒例の校歌で会を閉じました。



随想

偶然の出会い、そして舞台

昭和五二年法律学科卒 宮越 明子

大学生活になかなか馴染めずいた春四月、何か部活動でも始められたらとサークル棟の古典七派のエリアを歩いている時だった。一人の男子学生に声を掛けられた。

偶然にも秋田市出身の新生入生（Kさん）で「書道部に入らない？」と誘われ部室に案内された。数日後、私は書道部の一員となっていた。当時部長を務めていた本間昭彦さん、Kさんという顔見知りの方がいたことで、宮陵会の会合に出席することになり現在に至っている。

大学一年の冬、いわゆる四八豪雪の時だった。とある事情から両親と共に宝塚歌劇団を観た。高一の時、秋田県民会館で観劇し心惹かれた宝塚と、偶然にも同じ雪組の公演だった。ほどなく熱烈なツカファンとなり早や半世紀、今も宝塚への愛は決して色褪せる事はない。

幼い頃からピアノを習い音楽がずっと好きだった。大学時代には

ピアノガーデンでエレクトーン演奏のアルバイトをしたり、近所の子ども達に教えてもいた。卒業後、学校事務職員として県内の小中学校に勤務する中、秋田演劇鑑賞会の役員を引き受け、それまで観ていた宝塚・歌舞伎・劇団四季等の大舞台とは違う小劇場公演を東京で数多く観る機会を得て、そういった舞台の魅力にも気付く様になった。

そして、自分自身も舞台上に立ちたいという想いから、第九演奏会を皮切りに、郷土創作オペラ、秋田わか杉国体では歌のステージに立つ広報ボランティアとしての活動、県民ミュージカル「白瀬中尉物語」、アトリオンコンサートオペラ、県民会館閉館記念ミュージカル等に出演してきた。昨年一月には、あきた芸術劇場ミルハス開館記念ミュージカル「櫻の記憶・蓮のトキメキ」の舞台に立った。

稽古に参加する中で、一つの舞台作品を作り上げる大変さ、そして情熱を再認識し、舞台役者への尊敬の念は今も尽きる事がない。舞台と客席が一つになる劇場空間の魅力は私にとって永遠のものである。早期退職してこのかた二十年は

舞台観劇中心の日々。秋田市のこまち温泉にかつてあったこまち劇場で大衆演劇に出会い、宝塚と同様に深くのめりこむようになった。コロナ禍、一人の役者を支援した。この人の他にも秋田出身だったり、元わらび座、扉座等、嬉しい事に上京した際にプライベートで会える役者も数人存在する。現在は、ほぼ月二回三泊四日で宝塚、大衆演劇、小劇場と様々な舞台を観るため、東京や関西への遠征を繰り返す生活を送っている。(秋田市桜在住)

令和5年度収支決算及び令和6年度収支予算

Table with 4 columns: 科目, 5年度決算額, 6年度予算額, 摘要. Includes sections for 収入 (Income) and 支出 (Expenditure).

日本ドラゴン女王 長谷川 円香 プロ選手 神奈川大国際経営学科四年 総会終了後、横手市出身で神奈川大学四年の長谷川円香さんから講演を頂きました。長谷川さんは、高校三年時にプロ登録し、2020年11月日本大会三位。21年日本ドラゴン選手権大会準優勝。22年、23年日本ドラゴン選手権大会「WOMEN S DIVISION」で優勝し連覇。現役女子大生で日本ドラゴン女王として世界大会出場権を獲得、世界トップ級のランクでもあ

総会秋田県宮陵会神奈川大学



ります。日本記録である最長飛距離は300ヤード！父は元ノーザンハピネットの長谷川誠ヘッドコーチ、母もバレーボールの選手というサラブレッド一家。ロングドライブをオリンピック競技にするための活動も行っており、八月十六日、十七日に秋田カントリー倶楽部で秋田初の国際大会を開催した。今後は是非、長谷川選手を応援してください！

